

授業科目名		小児保健看護援助論	担当教員	◎吉川一枝、吉野妙子、手塚鈴菜
必修	開講年次：3年前期	単位：2単位	授業形態：演習 60時間	

#### 【授業概要】

小児看護学概論で学んだ子どもの発達や生活の特色、家族の役割等を基盤として、子どもの疾患に特有な看護実践について学ぶ。講義は、小児の代表的な疾患に対する看護援助技術を、事例検討を通して学ぶ。

#### 【授業目的・目標】

健康障害を持つ子どもと家族が生活・療養するための看護実践について修得する

1. 病気や入院が子どもに与える影響とその看護が説明できる
2. さまざまな状況にある子どもと家族への看護が説明できる

#### 【履修条件】

「小児保健看護学概論」を修得していること。

#### 【授業計画】

- |      |   |            |
|------|---|------------|
| [01] | 子どもの健康問題と看護：子どもと家族の看護の方向性、子どもの権利            | (吉川)       |
| [02] | 外来における子どもと家族の看護：外来の種類と活動、受診の流れと看護、現状と課題     | (吉野)       |
| [03] | 入院を必要とする子どもと家族の看護：入院による子どもと家族への影響と反応        | (吉川)       |
| [04] | 入院を必要とする子どもと家族の看護：入院環境、事故の種類と内容及び防止策        | (吉川)       |
| [05] | 症状を示す子どもと家族の看護：子どもの症状の特徴、子どもと家族の看護          | (吉野)       |
| [06] | ハイリスク新生児と家族の看護：ハイリスク新生児の特徴、子どもと家族の看護        | (吉野)       |
| [07] | 急性期にある子どもと家族の看護：急性期の特徴、子どもと家族の看護            | (吉野)       |
| [08] | 慢性期にある子どもと家族の看護：小児慢性特定疾患について、子どもや家族の特徴と看護   | (吉川)       |
| [09] | 慢性期にある子どもと家族の看護：成人期への移行過程にある子どもの問題と課題       | (吉川)       |
| [10] | 生活制限のある子どもと家族の看護：生活制限とは、感染症をもつ子どもの看護(隔離)    | (吉川)       |
| [11] | 生活制限のある子どもと家族の看護：活動制限・食事制限の目的と看護            | (吉川)       |
| [12] | 検査や処置を受ける子どもと家族の看護：プレパレーションの目的と実際、検査・処置時の看護 | (吉野)       |
| [13] | 検査や処置を受ける子どもと家族の看護：事例(発達段階別)を用いたグループワーク     | (吉野)       |
| [14] | 周手術期にある子どもと家族の看護：術前・術後の看護、退院に向けての看護         | (吉野)       |
| [15] | 終末期にある子どもと家族の看護：終末期とは、緩和ケア、デスエデュケーション       | (吉川)       |
| [16] | 障害をもつ子どもと家族の看護：心身に障害のある子どもの特徴、在宅療養と看護       | (吉野)       |
| [17] | 障害をもつ子どもと家族の看護：災害時の看護、子どもが受ける影響、災害への備え      | (吉野)       |
| [18] | 健康障害をもつ子どもの看護過程一演習(情報の分類と整理)                | (吉野・吉川)    |
| [19] | 健康障害をもつ子どもの看護過程一演習(解釈と判断1)                  | (吉野・吉川)    |
| [20] | 健康障害をもつ子どもの看護過程一演習(解釈と判断2)                  | (吉野・吉川)    |
| [21] | 健康障害をもつ子どもの看護過程一演習(全体像・看護上の問題の明確化)          | (吉野・吉川)    |
| [22] | 小児看護を支える基本技術一演習(バイタルサイン測定、注射部位の固定)          | (吉野・吉川・手塚) |
| [23] | 小児看護を支える基本技術一演習(経口与薬、点滴の滴数調整)               | (吉野・吉川・手塚) |
| [24] | 小児看護を支える基本技術一演習(身体計測、環境整備)                  | (吉野・吉川・手塚) |
| [25] | 小児看護を支える基本技術一演習(採尿、抑制、腰椎穿刺の固定)              | (吉野・吉川・手塚) |
| [26] | 遊びを活用した子どもの看護一演習(対象の理解：事例1~6から選択)           | (吉川・吉野)    |
| [27] | 遊びを活用した子どもの看護一演習(担当事例の援助計画・立案)              | (吉川・吉野)    |
| [28] | 遊びを活用した子どもの看護一演習(遊具検討1)                     | (吉川・吉野)    |
| [29] | 遊びを活用した子どもの看護一演習(遊具検討2)                     | (吉川・吉野)    |
| [30] | 遊びを活用した子どもの看護一演習(発表会)                       | (吉川・吉野)    |

#### 【教科書】

1. 奈良間美保著他(2016)小児看護学【1】小児看護学概論・小児臨床看護総論, 医学書院
2. 奈良間美保著他(2016)小児看護学【2】小児臨床看護各論, 医学書院

#### 【参考書】

1. 今野美紀、二宮啓子編集(2017)小児看護技術 改訂第2版, 南江堂
2. 中野綾美編集(2015)ナーシング・グラフィカ小児看護学②小児看護技術, メディカ出版
3. 松森直美、蝦名美智子編集(2012)小児看護ケアモデル実践集, へるす出版
4. 及川郁子、田代弘子編集(2007)病気の子どものプレパレーション, 中央法規
5. 松尾宣武、濱中喜代編集(2013)健康障害をもつ小児の看護, メデカルフレンド社
6. 伊藤龍子編集(2012)子どもの看護技術, 医歯薬出版株式会社
7. 山元恵子監修(2017)小児看護技術, インターメディカ

#### 【評価方法・評価基準】

定期試験 70%、課題レポート等の提出 30%

#### 【講義のために必要な事前・事後学習】

事前学習：授業時に提示された事前課題の記述を行う。

事後学習：講義資料をもとに学習内容の復習、課題の記述を行うことを通して、小児保健看護学臨地実習に繋げる。

#### 【教育目標(必須要素)との関連】

この科目は、教育目標の必須要素Ⅲ.根拠に基づいた看護実践能力と関連する。

#### 【試験や課題レポート等に関するフィードバック】

個人が演習で作成した課題に関しては、教員への提出後、評価し返却する。

#### 【備考】